

## 世界のサイフ

ファンド・オブ・ファンズ

## ファンドの概要

設定日 2006年12月15日  
 償還日 2016年10月12日  
 決算日 原則毎月12日  
 収益分配 決算日毎（第2期以降）

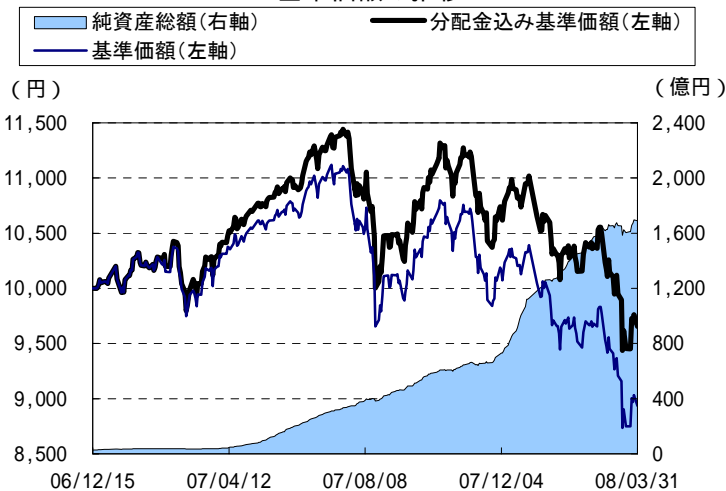
## ファンドの特色

1. 原則として高金利の10通貨を選定し、当該通貨建ての短期債券などに投資します。
2. 原則として、毎月、安定した収益分配を行なうことをめざします。

## 運用実績

このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## &lt; 基準価額の推移 &gt;



基準価額 : 8,936円  
 純資産総額 : 1,690.23億円

## &lt; 基準価額の騰落率 &gt;

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-8.02%	-12.38%	-11.54%	-5.98%	-	-3.46%

基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。

基準価額は、信託報酬（年率0.93655%（税抜0.90405%）程度）控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「お申込メモ」の「手数料等の概要」をご覧ください。

## &lt; 資産構成比率 &gt;

マルチカレンシーファンド クラスB	99.5%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.1%
その他	0.4%

## &lt; 基準価額騰落の要因分解 &gt;

前月末基準価額	9,777円
当月お支払いした分配金	-60円
要因	
アメリカドル	-62円
ポーランドズロチ	-28円
イギリスポンド	-59円
オーストラリアドル	-91円
ニュージーランドドル	-78円
南アフリカランド	-129円
メキシコペソ	-59円
ハンガリーフォリント	-22円
ノルウェークローネ	-45円
アイスランドクローネ	-215円
債券・その他	6円
当月末基準価額	8,936円

上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

## &lt; 分配金実績（税引前） &gt;

設定来合計	直近12期計	07・4・12	07・5・14	07・6・12	07・7・12	07・8・13
790円	690円	50円	50円	50円	60円	60円
		07・9・12	07・10・12	07・11・12	07・12・12	08・1・15
		60円	60円	60円	60円	60円

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

## マルチカレンシーファンド クラスBのポートフォリオの内容

日興アセットマネジメント ヨーロッパ  
リミテッドより提供された情報です。

## &lt; 外国通貨別構成比 &gt;

ユーロ	9.9%
ポーランドズロチ	10.0%
イギリスポンド	9.8%
オーストラリアドル	9.8%
ニュージーランドドル	9.9%
南アフリカランド	9.9%
メキシコペソ	9.6%
ハンガリーフォリント	10.1%
ノルウェークローネ	10.0%
アイスランドクローネ	10.0%

比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

## &lt; 公社債種別構成比 &gt;

ソブリン債	32.0%
社債等	63.1%

比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

ソブリン債は国債、政府機関債、政府保証債、国際機関債などです。

## &lt; 格付別構成比 &gt;

短期金融商品	P-1	35.1%
	P-2	0.0%
	P-3以下	0.0%
	平均格付	P-1
債券	Aaa	33.3%
	Aa	24.7%
	A	2.0%
	Baa以下	0.0%
	平均格付	Aa1

比率は当外国投資信託の純資産総額比です。  
格付はMoody's、S&Pのうち、高い格付を採用しています。

## &lt; 残存別構成比 &gt;

30日以内	31.4%
90日以内	31.5%
180日以内	18.0%
180日超	14.1%
平均残存日数	80日

比率は当外国投資信託の純資産総額比です。  
変動利付債は次回利払い日までの日数で計算しています。

## &lt; 組入債券の最終利回り &gt;

最終利回り	7.22%
-------	-------

上記は、個別債券について加重平均したものです。  
最終利回りは、債券を満期まで保有した場合の利回りです。  
将来得られる期待利回りを示すものではありません。

## 運用コメント

## 投資環境

## 【オーストラリア】

3月には金利が据え置かれたため、利回りはほとんど変わらずでした。経済は引き続き堅調ですが、海外の動向が今後の金融政策にも影響をおよぼすことが予想されます。リスク回避の流れを受けて円高が進んでいるためオーストラリアドルは軟調でした。

## 【ハンガリー】

インフレが根強く、利上げが予想されるため、利回りは上昇しました。そして月末にはインフレ抑制を目的に中央銀行が予想を上回る0.5%の利上げを実施しました。ハンガリーフォリントはほぼ横ばいでした。

## 【アイスランド】

アイスランドクローネは軟調でした。現在の環境がアイスランド経済の大きな部分を占める銀行業界に大きく悪影響をおよぼすことが危惧されたためです。通貨の下支えを目的に、中央銀行は1.25%の利上げを実施しました。

## 【メキシコ】

米国との関係の緊密さゆえに米国経済の減速の影響が危惧されていましたが、経済指標が予想外に堅調だったことからメキシコの利回りはほぼ変わらずでした。リスク回避の流れを受けて円高が進み、メキシコペソは軟調でした。

## 【ニュージーランド】

中央銀行が金利を据え置くなか、利回りは徐々に上昇しました。目標値を上回っているインフレとグローバル経済の減速のふたつの要因が拮抗しており、金利はしばらく現在の水準で推移すると思われます。ニュージーランドドルは他の高利回り通貨同様、リスク回避の流れの影響を受けて弱含みました。

## 【ノルウェー】

利回りはほぼ変わらずでした。経済が堅調で潜在的なインフレ圧力が高まっているため利上げが予想されますが、世界経済の減速がインフレ沈静に働く可能性もあります。これを受けてノルウェークローネは弱含みました。

## 【ポーランド】

経済が堅調で、賃金および小売売上げも上昇していることを受け、利回りは上昇しました。このためインフレ圧力も高まり、中央銀行は利上げを実施しました。ポーランドズロチはほぼ横ばいでした。

## 【南アフリカ】

インフレ圧力が継続しており、利回りは上昇しました。中央銀行理事は価格上昇が食品と燃料以外にも拡大しているとコメントしました。南アフリカランドは他の高利回り通貨同様、リスク回避の流れの影響を受けて弱含みました。

## 【イギリス】

銀行間取引の低調な状況が続き、利回りは上昇しました。しかし銀行が融資基準を厳格化し、それを受けて住宅市場が悪化している傾向が見られるため、利下げの可能性は高まっています。そのためイギリスポンドは軟調でした。

## 【アメリカ】

金融セクターを中心に経済の減速が続いています。FRB（米連邦準備理事会）は市場に流動性を供給し、金利を0.75%引き下げました。住宅市場の問題が主因となって、アメリカドルは弱含みました。

## 運用概況

当ファンドでは、利息収益を得ることを目的としながら、格付の高い証券に投資しています。今月の基準価額は、円高の影響を受けて値下がりしました。

引き続きメキシコやニュージーランドのような金利がピークに近いと思われる市場では残存期間を長めにしています。オーストラリアや英国では現在の利回りに鑑み残存期間を長めにしました。

定期の投資通貨の見直しを行ない、アメリカドルをユーロに切り替えました。米国は住宅市場と金融セクターの問題を受けて、金利がさらに低下することが予想されます。一方、ユーロ圏の経済は堅調で、インフレ懸念も続いていることから金利の引き下げの可能性は当面低いだろうと予想しています。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。**

当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

## お申込み

商品分類	追加型証券投資信託 / ファンド・オブ・ファンズ / 自動けいぞく投資適用
お申込単位	お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
お申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込不可日	取得申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、取得のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	平成28年10月12日まで（平成18年12月15日設定）
決算日	毎月12日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。 なお、分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
ご解約価額	解約請求受付日の翌営業日の基準価額
ご解約不可日	解約請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、解約請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご解約代金のお支払い	原則として、解約請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通配分金ならびに換金（解約）時および償還時の個別元本超過額に対して課税されます。 詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
手数料等の概要	お客様には、以下の費用をご負担いただきます。 <お申込時、ご換金（解約）時にご負担いただく費用> お申込手数料：お申込手数料率は、2.1%（税抜2%）を上限として販売会社が定める率とします。 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。 換金（解約）手数料：ありません。 信託財産留保額：ありません。 <信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用> 信託報酬：純資産総額に対して年率0.9365%（税抜0.90405%）程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率0.6825%（税抜0.65%）、投資対象とする外国投資信託の組入れに係る信託報酬率が年率0.25405%程度となります。このうち、当該外国投資信託の信託報酬率は、純資産総額や為替相場によって変動します。それに伴い、実質的な信託報酬率も変動します。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。 その他費用：組入る有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。 当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様はファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。 詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社（再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社）
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 <a href="http://www.nikkoam.com/">http://www.nikkoam.com/</a> 〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時、半休日となる場合は午前9時～正午。土、日、祝・休日は除く。）

## お申込みに際しての留意事項

## リスク情報

- ・当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行ない、投資対象とする投資信託証券は、主に債券など値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。
- ・投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。
  - 【価格変動リスク】一般に公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動は、残存期間・発行条件などによりばらつきがあります。
  - 【流動性リスク】市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。
  - 【信用リスク】一般に公社債および短期金融資産にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格は下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
  - 【為替変動リスク】外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。  
ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

## その他の留意事項

当資料は、日興アセットマネジメントが「世界のサイフ」の投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、販売会社より、投資信託説明書（交付目論見書）などをあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号  
 加入協会：（社）投資信託協会  
 （社）日本証券投資顧問業協会

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録金融機関	登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	(社)投資信託協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
株式会社あおぞら銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第8号				
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第43号				
株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第2号				
遠賀信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第21号				
株式会社香川銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第7号				
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長（金商）第3号				
株式会社紀陽銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第8号				
株式会社京都銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第10号				
京都中央信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第53号				
京都北都信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第54号				
株式会社きらやか銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第15号				
桐生信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第234号				
株式会社熊本ファミリー銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第6号				
呉信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第25号				
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第46号				
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第56号				
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第11号				
シティバンク銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第623号				
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号				
株式会社親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第3号				
中央三井信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第21号				
東海労働金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第70号				
株式会社東和銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第60号				
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第3号				
奈良信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第71号				
奈良中央信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第72号				
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第15号				
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第129号				
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第49号				
平塚信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第196号				
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第5号				
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第44号				
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号				
福井信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第32号				
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第7号				
福岡ひびき信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第24号				
株式会社豊和銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第7号				
株式会社北越銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第48号				
北陸労働金庫	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第36号				
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第1号				
株式会社北國銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第5号				
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第38号				
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第36号				



優秀ファンド賞 受賞

モーニングスター

“ファンド オブ ザ イヤー 2007”

国内債券型・国際債券型部門

Morningstar Award “Fund of the Year 2007”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2007年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国内債券型・国際債券型部門は、2007年12月末において運用期間1年以上の当該部門に属するファンド425本の中から選考されました。